



歌
謡
詞
に

恋
し
て

(その一)



高
木
徳
一

目次

一. 天文・気象・・・・・・・・・・・・・・ 13

(一) 空 (平成二十三年一月)

三つの空・・・・・・・・・・・・・・ 13

空想さんまい・・・・・・・・・・・・・・ 13

(二) 太陽・日光 (平成二十三年二月)

ありがとうSUN・・・・・・・・・・・・・・ 14

四季のあなた・・・・・・・・・・・・・・ 15

(三) 月 (平成二十三年二月)

月の舟・・・・・・・・・・・・・・ 16

粹な月・・・・・・・・・・・・・・ 16

(四) 星 (平成二十三年二月)

星祭り・・・・・・・・・・・・・・ 17

泣き笑い星・・・・・・・・・・・・・・ 18

(五) 朝夕 (平成二十三年三月)

朝は必ず・・・・・・・・・・・・・・ 18

朝霧に消えたあなた・・・・・・・・・・・・・・ 19

一・天文・気象

(二) 空 (平成二十三年一月)

三つの空

1 海の空は 潤いお肌

海の空は 時刻(とき)の色合い

海の空は 日々の移ろい

海の空は 季節の変化

海の空は 天地を守る

海の空よ いついつまでも

2

街の空は 荒れたお肌

街の空は 煙にむせび

街の空は 音に悩んで

街の空は 眠りが浅い

街の空は 誰も守れない

街の空よ 生き返れ早く

3 山の空は すつきりお肌

山の空は 嶺を眼下に

山の空は 溪流眺め

山の空は 森を見詰め

山の空は 生き物を守る

山の空よ いついつまでも

空想さんまい

1 空想って 楽しいな

お金も道具も いらぬよ

頭一つで 充分だ

夢想 幻想 ファンタジー

何でもござれの この世界

2 空想って うれしいな

いじめたあいつを 消している

気球に飛び乗り 世界の旅

青い目金髪 コミュニケーション

何でもござれの この世界

3 空想って うれしいな

デートも泊まりも 自由だよ

いつのまにやら 子沢山

炊事 洗濯 ノイローゼ

何でもござれの この世界

4 空想って うれしいな

セレブの世界に 仲間入り

プレイ グルメに 明け暮れて

今では寝たきり メタボボディー

何でもござれの この世界

(二) 太陽・日光 (平成二十三年二月)

ありがとうSUN

1 ありがとうSUN さんさんと注ぐ

光の帯 地球は生きる

あなたのお陰

青い空 風去り

海原はるか 生き物生まれ

子を産みて 代々続く 生物世界

2 ありがとうSUN ごくろうさん

長きに渡り 人は生きる

あなたのお陰

喜び怒り 人は生まれ

子を産みて 代々続く 人間世界

3 ありがとうSUN 未来永劫

子孫のために 子孫は生きる

あなたのお陰

テロに戦争 環境破壊

全力上げて なくす世に

英智を絞る 報恩世界

四季のあなた

1 春の陽は 柔らかく 匂いたつ

希望が芽生え ほんわかと

あなたは今 何処で 何をしていますか

出会いは 二十歳の頃でした

2 夏の陽は 激しく 飛び上がる

恋が芽生え ドキドキと

あなたは今 何処で 何をしていますか

出会いは 二十歳の頃でした

3 秋の陽は 爽やかに 頬触れる

愛が芽生え 心疼く

あなたは今 何処で 何をしていますか

出会いは 二十歳の頃でした

4 冬の陽は 雲隠れ 細くなる

別れが芽生え じくじくと

あなたは今 何処で 何をしていますか

出会いは 二十歳の頃でした

(三) 月 (平成二十三年二月)

月の舟

1 何処に行くのか 月の舟

私の哀しみ 乗せて行く

流れ流れて 黒き雲

じつと見送る 何時までも

遠くに消える 月の眉

2 何処に行くのか 月の舟

私の喜び 乗せて行く

きらめく星に 囲まれて

じつと見送る 何時までも

遠くに輝く 弓張り月

3 何処に行くのか 月の舟

私の希望 乗せて行く

天の川を 渡り切り

じつと見送る 何時までも

叶えておくれ 望月よ

粹な月

1 上野の山の 夜桜で

ほろ酔いきげん 二人とも

あなたの温もり 手に感じ

歩き続けた 人の波

ア—ア— 寒さに浮かぶ 春の月

2 墨田の川の 江戸の華

浴衣姿で 二人とも

あなたの温もり 唇に

もまれ続けた 人の波

ア—ア— 暑さに浮かぶ 夏の月

続きは
完成版で
お楽しみ下さい。